

令和6年度 第3回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和6年11月26日（火） 午後1時29分～午後1時53分
場 所	かほく市役所 2階 議会会議室
出席委員	坂野委員、南委員、西田委員、松本委員、元木委員、桶谷委員、上村委員 森下委員、東委員、竹本委員（10名） ※欠席：楠委員、浜本委員（2名）
事務局	総務課【竹田課長、新田主幹、石野主査、岩井主事】
議 題 等	1. 開会 2. 坂野会長あいさつ 3. 第5次行政改革大綱（案）について 4. その他
会議資料	・ 第5次かほく市行政改革実施計画大綱（案）

○第5次かほく市行政改革大綱（案）について

- ・ 新田主幹より、第5次かほく市行政改革大綱（案）に基づき、説明を行った。

○その他

- ・ 新田主幹より、今後の会議の開催予定と委員報酬の支払についての説明を行った。

【主な質疑応答】

<第5次行政改革大綱（案）について>

（委員）

- ・ 第5次行政改革大綱の答申はいつ頃を予定しているのか。

（事務局）

・ 今回お示した大綱は素案であり、この素案について委員各位の意見を反映したものを次回会議でお示したいと考えている。次回会議において、さらに意見があれば、その意見を反映したものを最終確定とし答申することを想定している。答申の時期としては、1月中旬頃を予定している。

（委員）

・ 地方公共団体を取り巻く状況について、今回の能登半島地震を教訓に災害対応を見直す機会になったのではないかと感じているが、いかがか。

（事務局）

・ 行政改革という切り口では違っているが、今回の能登半島地震を教訓に地域防災計画を見直し、災害に備えるということでは対策を進めているところである。

(委員)

・防災に関して、例えば女性避難者やペット連れ避難者に対する対応などの課題について、防災の基本的な方向性は喫緊のうちに見直しすることとされている。行政改革に関連してあえて言うならば、今回の災害で行政のマンパワー不足が課題としてある。過去の行政改革において職員数を減らすことが目的とされてきた経緯がある。災害に備え、人員を増やして体制を構築するかというと、行政の効率と財政の観点から厳しいものがある。

午後1時53分会議終了